

再評価個表

事業名	今治広域都市計画公園事業	事業主体	今治市
施設・工区名等	いまばりせいぶきゅうりょうこうえん 5・5・5今治西部丘陵公園	事業箇所	今治市
事業主旨	今治西部丘陵公園の整備		
再評価の実施理由	事業採択後10年が経過して継続中		

1. 地域の概要

今治市は、愛媛県の北東部に位置し、瀬戸内海のほぼ中央部に突出した高縄半島の東半分を占める陸地部と、芸予諸島の南半分の島しょ部からなる、変化に富んだ地勢となっている。今治西部丘陵公園は、この周辺環境が育む自然を楽しむことが容易にできるように、市の中心部に隣接して整備する「新都市開発整備 第2地区」に接して計画されている。

2. 事業概要及びこれまでの事業経緯

事業採択	平成12年	完成予定	平成26年
用地着手	平成12年	工事着手	平成16年
全体事業費	6,200百万円(うち用地費:3,400百万円)		
(1) 事業概要	計画面積:34.9ha ・園路広場工(舗装工・縁石工) ・修景施設工(植栽工) ・教養施設工(環境体験学習コース) ・管理施設工(車止め・案内板・防護柵工)		
(2) 事業経緯	○平成3年 3月:「今治スポーツの森公園(仮称)」の「運動公園」として基本計画策定 ○平成10年 9月:オオタカ保護対策決定、保全に係る区域設定 ○平成12年 4月:基本計画を基に、「総合公園」として都市計画決定 ○平成12年11月:基本設計を基に、都市計画事業認可 ○平成16年 9月:現地工事着手 ○平成18年~20年度:市町村合併に伴う事業の見直し		

3. 事業の必要性及び整備効果等

(1) 事業の必要性及び整備効果	<p><健康・レクリエーション空間の提供></p> <p>○愛媛県の平均に満たない、今治市の都市公園の整備率向上に寄与する。</p> <p>○オオタカなどの自然環境の保全と、自然体験やレクリエーション等の市民活動を両立。</p> <p>○今治広域圏の自然環境体験型施設として、今治市に多く点在する優れた自然環境資源自然公園と連携を図り、修学旅行や遠足を受け入れるなどの観光振興に寄与する。</p> <p><環境の維持・改善></p> <p>○生物が生息する区域の権利取得により、生息する動植物の保全に寄与する。</p> <p><防災></p> <p>○災害時の避難地等の重要な防災拠点として活用できる。</p>
(2) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>①地域開発の状況</p> <p>新都市第2地区の整備が進み、周辺の宅地（しまなみヒルズ）の販売が、順次進んでいる。</p> <p>②物流・交通量等の変化</p> <p>新都市第2地区内に西部丘陵公園へのアクセス道路となる「市道高地矢田線」も整備され供用を開始している。</p>

4. 事業の進捗状況及び進捗の見込み

(うち用地費)	(3, 317百万円)	〔進捗率：97.6%〕(事業費換算)
H21末投資事業費	4, 159百万円	〔進捗率：67.1%〕(事業費換算)
(1) 未着工又は事業が長期化している理由	<p>市町村合併による新都市整備の方針見直しにより、西部丘陵公園も見直し検討をするため、工事を一時中断している。</p> <p>その後、オオタカの保全をはじめ、自然環境に配慮した公園として整備することが市民意見を取り入れた方針として示され、今後はこの方針に従い、滞りなく整備進捗を図ることができる。</p>	
(2) これまでの整備効果	<p>オオタカ保全区域は既に用地買収済みであり、現在生息環境の保全を図っている。</p>	

(3) 事業の進捗の見込み

平成22年度に一部開園、平成26年度は全面開園の予定。

5. 事業の投資効果（費用対効果分析）

C：総費用＝7,950百万円（※端数処理の関係で下記内訳の合計とは一致しない）

- ・用地費 3,814百万
- ・施設費 2,740百万
- ・維持管理費 1,396百万

B：総便益＝16,973百万円

- ・直接利用価値の便益額 11,857百万
 - ・利用の便益額 11,857百万
- ・間接利用価値の便益額 5,115百万
 - ・環境の便益額 2,191百万
 - ・防災の便益額 2,924百万

$B/C = 16,973 / 7,950 = 2.1349$

≈ 2.13

6. コスト縮減や代替案立案等の可能性

1) オオタカ保全の検討により、より自然環境に配慮した公園としての整備をおこなうべく造成工事範囲を縮小した計画にし、経費を削減した。

2) 植栽計画の見直し縮減

当初案では公園植栽として成木を採用していたが、環境体験の出来る公園として計画を再検討し、在来種の苗木植栽に変更したことにより、体験学習や、市民参加による公園づくりを推進するとともに、費用の縮減を図ることができた。

7. その他

市民参加による今治西部丘陵公園整備計画検討会を実施し、日常的な利用や自然とのふれあいを公園に求める市民の声を反映した計画にて事業を進めている。

8. 対応方針

本事業を『規模の見直し』としたい。